PRESS RELEASE

報道関係各位

株式会社Polyuse

建設現場の施工DXを牽引するPolyuse、7.1億円の資金調達を実施

国内唯一の建設用3Dプリンタメーカーとして、建設業界の高齢化に伴う慢性的な人材不足※1や全国の社会インフラの老朽化問題に向き合い、持続可能なインフラ体制を技術で担う企業へ

国内唯一の建設用3Dプリンタメーカーとして研究開発を行う株式会社Polyuse (本社：東京都港区、代表取締役：岩本 卓也 / 大岡 航 以下Polyuse)は、新規投資家でユニバーサルマテリアルズインキュベーター、SBIインベストメント、Emellience Partners、既存投資家でCoral Capital、池森ベンチャーサポート、吉村建設工業を引受先とした7.1億円の第三者割当増資を実施いたしました。今回の資金調達を通じ、Polyuse製建設用3Dプリンタの更なる研究開発及び生産及び供給体制の拡充※2を行って参ります。

※1 2025年には技能労働者数が47万～93万人も不足するといわれています （参照：国土交通省）

※2 昨年より順次パートナー企業様を優先としてPolyuse製建設用3Dプリンタの納品は開始しております



Universal Materials Incubator Co.,Ltd. SBI Investment emellience

CORAL iVS 吉村建設工業株式会社 〒604-8414 京都市中京区西ノ京小倉町135 TEL075-802-1360

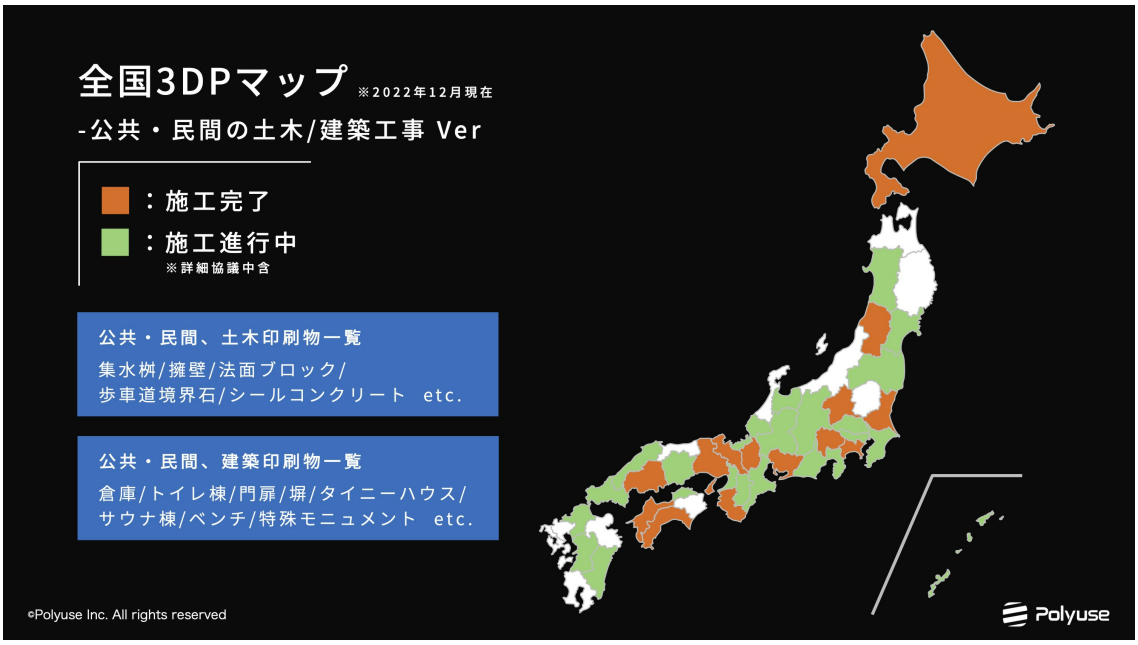
- **資金調達の背景と目的**

近年の建設業界は高齢化に伴う慢性的な人材不足が発生しています。加えて、全国社会インフラの進む老朽化や資材の高騰等の問題に対応すべく、建設用3Dプリンタの研究開発を進めております。国内では唯一の建設用3DプリンタメーカーであるPolyuseは、2022年1月に国内で初めて国土交通省公共工事での技術採択を皮切りに、2022年度は全国で30件強の3Dプリンタ施工を実施いたしました。

今後は社会課題になっている上記の問題に加えて、大型の公共構造物や建築物、環境に配慮したコンクリート印刷技術の開発、緊急災害時での迅速な復旧体制の構築等々、準備を進めています。

今後は調達した資金をもとに、現在パートナー企業を中心に順次納品しております建設用3Dプリンタの精度や品質の向上、印刷方法の多角化等々を目的にした、さらなる研究開発を進めると共に日々蓄積しております施工データを施工管理や計画段階でも活用できるプラットフォームなどの新たな領域にもプロダクトを発展させていきます。また、研究開発拠

点、製造拠点、専門人材の拡充といった施設や採用面も強化していく予定です。



- 各投資家からのコメント※順不同

投資家からのコメント



Polyuse社は、建設現場に迫る人手不足の課題に対して真摯に向き合い、様々な関係者を巻き込みながら課題解決に全力で取り組むスタートアップ企業です。当社チームは、ハード・ソフト・マテリアルと専門性の異なる多様な人材で構成されながらも、エンゲージメントが高く、強いチーム力によって、他社の追随を許さないスピード感で事業を進めています。建設業界の未来がPolyuse社のテクノロジーでアップデートされる瞬間を強く期待しております。

ユニバーサルマテリアルズインキュベーター ディレクター 土屋 亮 氏



建設業界は、就業者不足・高齢化等大きな課題を抱えており、イノベーションが必要だと考えております。Polyuseは、建設・土木用3Dプリンターに係るハード/ソフト/マテリアル全てを内製化しており、この難題に真正面から真摯に向き合っています。課題を抱える業界に対し、3Dプリンターに係る各領域に精通したメンバーが集まってきており、このチームであれば、大きなイノベーションを起こしてくれると期待しており、我々も全力で伴走支援して参ります。

SBIインベストメント 投資部 次長 小野 浩之 氏



Polyuse社はその提供サービスやテクノロジーにより、建設業界における「施工現場作業員の半減」や「工期半減」等の実現を目指しており、現場の人手不足問題等の解決に大きく貢献し得ると見ています。また、グローバルで成長が著しい3Dプリント建設市場において、Polyuse 社は国内ではトップランナーでもあり、当社は今回の出資やバリューアップ支援等を通じて、Polyuse社による国内外建設業界のDX（デジタルトランスフォーメーション）化の先導に貢献していきたいと考えております。

Emellience Partners 代表取締役CEO 千葉 真介 氏



Coralとしては2回目の出資となります。シードで出資させていただいたときから、Polyuseの建設用3Dプリンタはハード・ソフト・素材と全ての面で大きく進化し、全国で多くの施工実績を積み重ねています。今回加わってくださった強力な投資家の皆様の協力も得て、日本の建設業界を大きく変えていくと確信しています。

Coral Capital Founding Partner 澤山 陽平 氏

前回ラウンドに引き続きフォローで投資をさせてもらいました。この2年、彼らの行動力と課題解決力により、ハード、ソフト、マテリアルあらゆる面においてプロダクトは大きく進化を遂げ、施工実績も積みあがっています。3Dプリンターが建築や土木の現場において重要な一翼を担う日が近づいていることを実感しており、ワクワクしかありません。

池森ベンチャーサポート事業統括責任者/公認会計士 山岸 朝典 氏



弊社はPolyuseの創業当時（2019年）から共に建設用３Dプリンタを用いた施工の自動化を目指してきました。当初は「絵に描いた餅」だった現場での適用も、現在ではそう珍しくなくなりつつあります。 その間のマシンの進化には本当に目を見張るものがあると思います。 弊社でも2022年度には3件の工事現場にてPolyuse社製のマシンを活用させて頂きました。 ガラケーの全盛期から10年そこそこでスマートフォンが当たり前の世の中になったように、施工の自動化の流れも必然で大方の想像よりも早く進むのではないかと考えております。 折しも2023年度は BIM/CIM元年です。国交省主導で計画段階から施工までのデータの3次元化を推し進めるBIM/CIMと、3次元データに基づいて射出する建設用3Dプリンタとの相性は良好であると考えられます。 弊社では「株主の立場」と「施工者の立場」から今後とも3Dプリンタを用いた施工方法の確立とPolyuseの発展をサポートしていく所存です。

吉村建設工業 取締役 吉村 成一 氏



下記、リンク先資料には今回コメントいただいたすべての投資家・建山和由アドバイザー・Polyuseパートナー企業の情報やコメントを掲載しています。
https://docs.google.com/document/d/1fPNG3ThxwSKpmkvY3GuBbRmgwVWAn0Fb/edit

- 建山和由アドバイザーからのコメント



Polyuseは，国産の３Dプリンターを一から作り上げ，廉価で使い易いマシンとシステムを提供しています．この動きは，国内の建設改革を大きく後押しする取り組みと考えています．2016年国交省は，きつい，きたない，きけん，所謂３Kで象徴される建設業の体質を抜本的に改善すべくi-Constructionをスタートさせました．その取り組みの主要な柱であるICTの活用による省人化と効率化は大規模工事では実現されつつあるものの，日本のインフラ整備の7割以上を占める（金額ベース）地方自治体発注の中小の工事ではICTの導入に躊躇しているケースが多く，国でも地方の中小の工事における普及に向けて，様々な取り組みを進めています．そのような状況の中，Polyuseの３Dプリンターは，すでに地方の中小の工事で導入され，ローカルの建設工事でも使える技術として進化しています．これは，i-Constructionの目標を実現する意味で，重要な成果と捉えています．この流れが今後ますます進展し，建設用３Dプリンターが様々な工事で便利で使い易い道具として，当たり前のように使われるようになることを期待しています．

建山 和由 氏

Polyuse

- Polyuseパートナー企業の声※順不同



『可能性』。今、建設業に必要なのは正に可能性であり、そしてその先の希望を実現できるかどうかです。日本の建設業界は未曽有の人手不足、物価高です。世界を見れば未だに未整備な橋や道路、河川整備などの環境で、強度が低く安全ではない家に居住している人達が山ほどいます。国内外でのこの諸課題を打開する、その可能性がPolyuseの３Dプリンターにはあると考えています。Polyuseが建設業に新たなイノベーションを起こし世界を変えてくれる事を実際に共に３Dプリンターを活用して、15年間現場の最前線でいる私は確信しています。

山形県新庄市

新庄砕石工業所 取締役 柿崎 赳 様

Polyuse



建設業でありながら、建設業に捉われていないベンチャー企業であり、建設業界の救世主になると信じています。我々の取り巻く建設業界は人手不足と言われて久しいですが、生産性向上や省人化施工なども重要になっていますが、何よりも技術力の向上、魅力的な建設技術などが大きな建設業のキーになると信じています。3Dプリンタを通して、我々がワクワクする未来・新しい建設業を創造してくれているPolyuseさんには期待しかありません。

愛媛県新居浜市

白石建設工業 代表取締役社長 白石 尚寛 様

Polyuse



振り返ると、この業界で40年近く従事しておりますが、時代の変化に対応すべく、人材育成や新技術等、試行錯誤しながら業務に追われる日々を過ごす中、ポリウスの皆様に出会い、改めてモノづくりの楽しさやワクワクする気持ちを思い出しております。
建設業に旋風を巻き起こす皆様に敬意を表すると共に、革新的な3Dプリンタ技術で新しい時代を切り拓く瞬間を共有できる事に感謝しています。

和歌山県有田市

木下建設 専務取締役本部長 山田 裕明 様

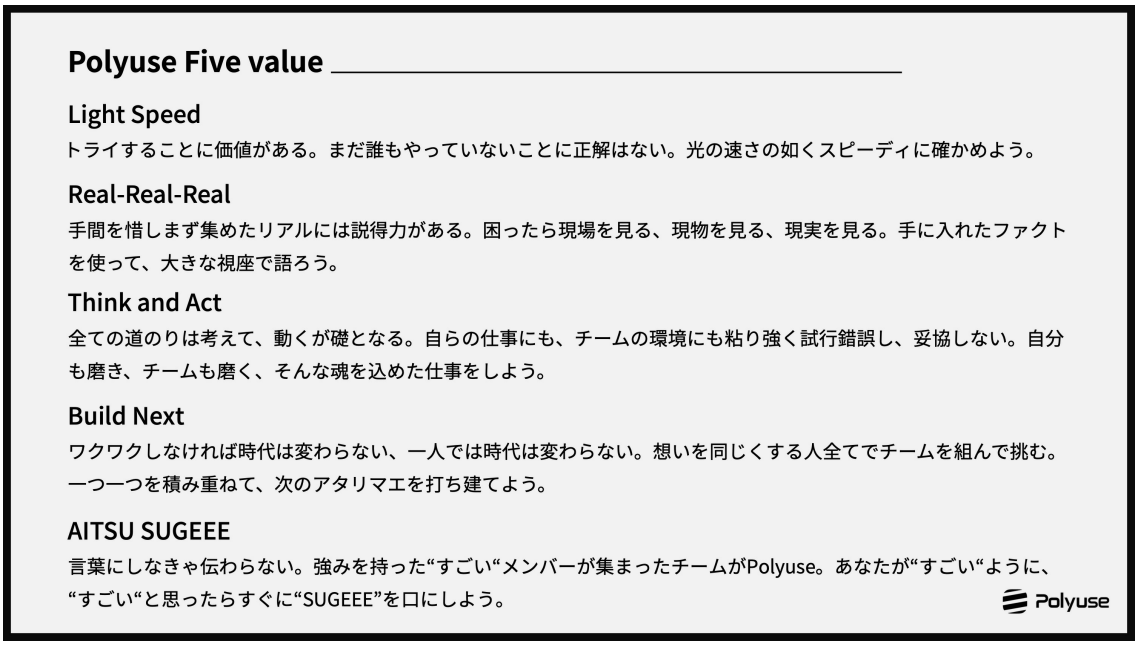
Polyuse

下記、リンク先資料には今回コメントいただいたすべての投資家・建山和由アドバイザー・Polyuseパートナー企業の情報やコメントを掲載しています。

https://docs.google.com/document/d/1fPNG3ThxwSKpmkvY3GuBbRmgwVWAn0Fb/edit

- **社会課題解決に向けての体制拡大**

Polyuseは、2021年にすごいベンチャー100（出典：週刊東洋経済）、2022年に建築をアップデートするベンチャー100（出典：日経アーキテクチュア）、未来の市場を作る100社（出典：日経クロストレンド）等に選出いただいています、モノづくり系のベンチャー企業になります。
▶3Dプリンタ建築のパイオニア！“日本初”に大使まで見学！
https://youtu.be/WXPXyBADrVw
▶日本製3Dプリンターでつくった倉庫やサウナ、公衆トイレなど続々！
https://suumo.jp/journal/2022/08/23/189372/
▶3Dプリンターでダムを造る近未来　「IoTコンクリート」も登場？
https://xtrend.nikkei.com/atcl/contents/18/00745/00019/?n_cid=nbpnxr_mled_new
Polyuseでは現在、エンジニアチームを中心に絶賛仲間を募集しています。
チームは、修士・博士出身者が多く、それぞれが自身の専門領域や責任感、建設業界をより良くする為のモノづくりを重要視する目線を持ち、常に課題を楽しむ最高のチームであることを大切にしています。



Polyuseの開発現場では、多くのパートナー企業様・大学研究機関様等と共同での事業展開を進めつつ、最先端の研究開発分野を社会実装していきます。
是非、建設業界の課題解決への強い関心と興味、そして各領域での実力・実績を兼ね備えた方と、より業界をアップデート出来るチームを作っていきたいと考えております。テクノロジーによる技術開発を通して、建設業界を変革する。というチャレンジにワクワクした方がいらっしゃれば、下記コーポレートサイトよりお問い合わせ頂ければ幸いです。
https://polyuse.xyz/recruit/

- **株式会社Polyuseについて**

会社名　　：株式会社Polyuse(ポリウス)
所在地　　：東京都港区浜松町2-2-15 (開発拠点は神奈川県鎌倉市)
代表取締役　　：岩本卓也 / 大岡航
事業内容　　：建設用3Dプリンタを中心とした建設業界特化型のハードウェア、ソフトウェア、サービスの企画設計、製造、販売
設立　　：2019年6月
URL　　：https://polyuse.xyz/
公式Twitter　　：https://twitter.com/polyuse

【本件に関するお問合せ先】

株式会社Polyuse 広報部
URL　　：https://polyuse.xyz/
メール　：info@polyuse.xyz

株式会社Polyuseのプレスリリース一覧
https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/49711

ロゴデータの利用については、以下のプレスキットをご参照くださいませ。
https://drive.google.com/file/d/1dXqI7eocqELy-byYzxKen9uLx578l4mM/view?usp=sharing